

## 単位を取得できる講演一覧

時間	セッション名	演者	演題名	リウマチ学会	リウマチ財団登録医 リウマチケア	日整会
12:00～ 13:00	ランチョン セミナー 1	①川畑 仁人	シンプルな関節リウマチ治療を目指して ～ウバダシチニブの可能性～		05-277	N-6,R
	ランチョン セミナー 2	②林 太智	リウマチ診療をアートする ～診療スキル向上のための Tips と TNF 阻 害薬の有用性～		05-277	N-6,R
	ランチョン セミナー 3	③花岡 洋成	腎機能を意識した関節リウマチの治療戦略 ～高齢関節リウマチ患者の治療戦略を考える～		05-277	N-6,13,R
		③望月 猛	身体機能からみた関節リウマチ治療戦略			
ランチョン セミナー 4	④矢嶋 宣幸	進化する SLE 治療：臨床研究の最新動向を探る		05-277		
13:10～ 14:10	スポンサード セミナー 1	⑤山前 正臣	リウマチ診療に残された課題とサリルマブに よる治療戦略 ～ Real-world data やサリルマブ 222 例の Alternative data からの検討を含め～		05-278	N-6,R
	スポンサード セミナー 2	⑥池田 啓	関節リウマチにおける JAK 阻害薬の有効性 と安全性		05-278	N-6,R
	スポンサード セミナー 3	⑦天野 宏一	RA 治療における JAK 阻害薬の可能性		05-278	N-6,R
	スポンサード セミナー 4	⑧津本 浩平	"次世代型抗体医薬品"への期待 ～VHH 抗体の医療応用からわかること～		05-278	N-1,6,R
⑧吉田 智彦		ペイシェントジャーニーマップに寄り添った 関節リウマチ治療 ～オゾラリズマブを含めて～				
14:20～ 15:20	アフタヌーン セミナー 1	⑨桑名 正隆	抗リウマチ薬の作用機序からみた関節リウ マチ治療の適正化		05-279-01	N-1,6,R
	アフタヌーン セミナー 2	⑩廣瀬 恒	関節リウマチにおける HLA-DRB1 shared epitope を考える		05-279-01	N-1,6,R
⑩松本 功		関節リウマチ難治病態における JAK 阻害薬 とその有用ポイント				
15:30～ 16:30	JCR 関東支部 地域教育研修会 1	⑪藤尾 圭志	リウマチ性疾患の遺伝子発現解析からの 疾患活動性と治療抵抗性へのアプローチ	研修単位	05-276-01	
	アフタヌーン セミナー 4	⑫田口 博章	関節リウマチの治療戦略 ～関節超音波の有用性と合併症の病態を踏ま えた治療～		05-279-02	N-6,R
16:40～ 17:40	JCR 関東支部 地域教育研修会 2	⑬内山 勝文	整形外科医から医療安全管理責任者へ ー立場が変わって学んだことー	医療安全 等の単位	05-276-02	N-14-5
	イブニング セミナー 1	⑭望月 猛	高齢 RA 患者に求められるマネージメント		05-280	N-6,R

※ JCR 関東支部地域教育研修会 2 は専門医共通講習 (医療安全) として認定されています

〔日本リウマチ財団 リウマチケア専門職  
看護師 [05-288K-1～5]

【認定番号】カリキュラムコード  
①②④⑤⑥⑦⑨⑩⑫ 2-1 ③⑪⑭ 2-2  
⑧ 2-1、2-2 ⑬ 3-2

薬剤師 [05-288Y-1～5]

①②④⑪⑫⑭ 2-1 ③⑩ 2-1、2-2  
⑤⑥⑦⑧⑨ 2-2 ⑬ 3-2

理学・作業療法士 [05-288R-1～5]

①②⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ 2-1 ③ 2-1、2-3  
④ 2-2 ⑬ 3-2 ⑭ 2-3

〔日本整形外科学会の単位について〕

取得単位：N：日整会専門医単位 R：リウマチ医単位

必須分野：[1] 整形外科基礎科学 [6]：リウマチ性疾患、感染症

[13]：リハビリテーション (理学療法、義肢装具を含む)

[14-5] 1～13 ならびに 14-1～4 に当てはまらないもの